

えつくす 特別号 2014

AUTUMN

三重大学広報誌
[三重大X]



[特集] スポーツの秋! 芸術の秋!

青春! 頑張るクラブ・サークル特集 ...05

CONTENTS

[特集] 学長一行が行く〜アフリカ南部訪問日誌〜...01 [特集] 輝くOB・OG 第6弾...03 気になるNEWS...09 お知らせ...11

●特集 ●学長一行が行く〜アフリカ南部訪問日誌〜

●特集 ●学長一行が行く〜アフリカ南部訪問日誌〜

学長一行が行く〜アフリカ南部訪問日誌〜

ザンビア共和国、南アフリカ共和国へ行ってきました!

三重大学は、地域に根ざし、世界で活躍できるグローバル人財を育成するために、国際教育・国際共同研究を充実し、大学の国際化を図るとともに、地域社会との連携、世界各国の大学との国際交流を積極的に推進しています。

この夏、内田淳正学長、堀 浩樹理事(国際交流担当)、江原宏副学長(国際担当)ら一行がアフリカ南部のザンビア共和国のザンビア大学と南アフリカ共和国のステレンボッシュ大学を訪問しました。

ザンビア大学

ザンビア共和国 2014.6.30—7.1

ザンビア共和国の首都ルサカ。アフリカというと、年中すごく暑い!というイメージを持つ方が多いかもしれませんが、訪れた時期はとても涼しく、快適でした。今回は、そのルサカにあるザンビア大学を訪問しました。ザンビア大学は学生数約10,000人の大学で、ザンビアの高等教育の中心です。三重大学とは2007年から医学部間の学部間協定を締結しています。滞在中は、医学部及び農学部にて意見交換や施設視察を行いました。すでに盛んに行われている医学分野での教育・研究連携の強化はもちろん、生物学分野における新たな連携に向けても話し合いが行われました。ザンビア大学と三重大学の連携発展に大きく貢献する訪問となりました。



ステレンボッシュ大学

南アフリカ共和国 2014.7.4

南アフリカ共和国では、ケープタウンから車で1時間ほど東にいった所にあるステレンボッシュ大学を訪問しました。ステレンボッシュ大学は、学生数約28,000人で10学部・大学院を有します。授業では英語に加え、アフリカーンス語(南アフリカの公用語の1つ)が使用され、ヨーロッパとアフリカ、両方の雰囲気を持つ素敵な大学です。現在のところ、三重大学との協定は締結されていませんが、近日中に両大学間の連携が進み、学生交流・研究協力が盛んに行われることが期待されます。



人類のふるさとアフリカへ

三重大学長
内田 淳正 Uchida, Atsumasa

今回訪問したザンビア共和国、南アフリカ共和国はともに政治的、経済的に比較的安定した国ですが、それでも先進諸国とは比べものにならないぐらい貧富の差が激しいところです。貧民街での衛生状況は悪く、感染症や栄養失調の子供たちは多い。病気が慢性化する子供たちの背景にはエイズがあるといわれています。子供たちへの教育が最も重要ですが、それには時間が必要です。

ザンビア大学医学部の建物の一部は30年前にJICA*の援助で完成しましたが、最近では日本の影も薄くなっています。それに変わって中国が前面に出てきています。他国への影響力は何を残すかではなく、文化の中に存在を示す継続性でしょう。

南アフリカ共和国のステレンボッシュ大学はワインとラグビーの大学。ケープタウンから東へ車で約1時間。南アフリカ最大のワイン生産地です。この大学の農学部にはワイン学科があり、ブドウ栽培や醸造の研究を通して地場産業にも大いに貢献しています。ワイン学科とは実に単純明快、わかりやすい。誰にでも何をしているかが理解できるし、三重大学にとっても絶好の連携先です。

プロゴルファー、アーニー・エルスがこの大学出身。彼のワイナリーがこの町にあり、その名もアーニー・エルスワインズ。彼は「ワイン造りはゴルフのようだ。最後には自然が全てを決定づける」と語っています。

山崎豊子作の『沈まぬ太陽』の最後の文章「何一つ遮るもののないサバンナの地平線へ黄金の矢を放つアフリカの大きな夕陽は、荘厳な光に満ちている。それは不毛の日々に在った人間の心を慈しみ、明日を約束する、沈まぬ太陽であった。」今回の訪問で見たザンベジ川やサバンナに沈む巨大な夕陽はまさに人の心に勇気を与えてくれます。

*独立行政法人 国際協力機構

特集

輝くOB・OG 第6弾 インタビュー

1,200種類以上の飼育種を誇る鳥羽水族館の前館長で、スナメリ研究の第一人者です。そんな古田さんにインタビューしてきました。



(三重県鳥羽市鳥羽水族館)

★鳥羽水族館前館長が語る。“一生懸命学び、楽しむ” File. 27

鳥羽水族館 前館長

古田 正美
Furuta, Masami

1948年三重県生まれ。1968年三重県立大学水産学部(現生物資源学部)入学。卒業後、鳥羽水族館に就職し、スナメリやジュゴンの飼育員を経て、2005年～2013年、鳥羽水族館館長を務める。著書:『いたずラッコのチャチャ』(学研)など多数。



セイウチのボウちゃん



学生時代～教育実習



ロシア連邦領ベリング島
〜ペンギンの骨の前で



「スナメリ飼育50周年記念国際シンポジウム」での講演
(2013.8.21-22)

長髪をなびかせて～楽しんだ学生時代

—— 当時の大学の雰囲気はいかがでしたか？

古田さん：70年代の安保闘争で学生運動が激化していく時代でした。私は自動車部で仲間と車を改造したり、自治会の書記に抜擢されデモを指揮したり…。かなり活発な学生で、何かあると「古田」の名前が教授会で挙がっていたようです。

—— やんちゃな学生さんだったんですね。

古田さん：先生も「古田を自由にさせておくと、何をするか分からない」とも思ったのでしょうか。2年生の冬に自動車部の顧問に呼ばれて、卒業するまで毎日、研究室で日照データを管理するお役目をいただきました。雨の日も風の日も、体調の悪い時も休まず頑張りました。厳しい研究室でしたが、その分、学ぶことも多く貴重な経験でした。

—— 大学生活で、古田さんが身に付けたことはなんですか？

古田さん：辛抱を覚えました。そして、目の前にある仕事にしても、遊びにしても100%楽しむこと、これは私の人生の流儀になっています。

いたずラッコのチャチャとの出会い

—— 水族館の飼育員という憧れの職業の一つだと思いますが、古田さんにとっても若い頃からの夢だったのでしょうか？

古田さん：それが全然。私自身は研究生として大学に残ろうと考えていたのに、先生の紹介で鳥羽水族館の面接を受けることになって。そのまま鳥羽水族館に42年務めました。学生時代に研究室で見ていたホルマリン漬けの魚と本物は違うので、入社して1年間は水槽の前で必死に名前を覚え直したものです。

—— 鳥羽水族館での思い出を教えてください。

古田さん：飼育下でのスナメリの出産に世界で初めて成功したこと、オーストラリアの木曜島・金曜島でのジュゴンの調査^{※1}、シーラカンス調査の時に訪れたコモロ・イスラム連邦共和国^{※2}でクーデターに遭遇し、51時間かけてモザンビーク海峡をわたって逃げたこと、思い出は数えきれないけど、その中でも特にラッコの飼育は印象深いですね。当時、日本では飼育の成功例がなく責任の重い仕事でしたが、1983年10月3日にアラスカの海から4頭を迎え入れて、翌年に子どもが産まれた時には鳥羽水族館の来訪者が一気に100万人も増え、お客さんが鳥羽駅まで(約750m)行列を成したほどでした。



ラッコへの給餌

—— 著書にラッコの絵本がありますね。

古田さん：『いたずラッコのチャチャ』は、アラスカから来た「ブック」の子どものことを書いた絵本です。ある朝、自宅に「ブックが子どもを産んだ!」と緊急連絡が入り、慌てて水族館に向かうとブックが毛玉のようなものをお腹の上に抱いている。その毛玉のように小さかった赤ちゃんが、日本で初めて産まれたラッコの子どもで絵本の主人公の「チャチャ」なんです。

—— きっと我が子のように可愛かったでしょうね。

古田さん：親子の様子を58日間、水槽の前で寝る間を惜しんで観察を続けました。市の獣医師(家畜専門)と「犬ならどうするだろう?」と対応策を練ったり、自分の腕を噛ませている間に注射をしたり…。嘔み跡、今も残っていますよ。全てが試行錯誤と粘りの日々でした。学生時代に培った辛抱強さが生きたのだと思います。

これから…

—— 館長を2013年に退任され、顧問としてのお仕事も終了した今、どのようなことをされていますか？

古田さん：もちろん研究は続けています。今は三重大学との共同研究で、スナメリの生態調査(生物資源学部吉岡基教授と)、ウシモツゴ^{※3}の保全調査(同学部 河村功一准教授と)など。プライベートでは、自宅の庭で昆虫を探したり、双眼鏡で野鳥観察していますよ。職業病だね(笑)。

—— 今後、三重大学と鳥羽水族館の連携の中でどのようなことを期待されますか？

古田さん：鳥羽水族館は、カピバラやビーバーなどの陸水動物の飼育も進めています。海と陸の貴重な動物が集まった“宝の山”です。是非、大学には教育・研究の場として大いに活用してもらいたい。一緒になって発展していけばよいと思っています。

—— 最後に、若い人たちへアドバイスをお願いします。

古田さん：僕の人生では、ピンチの時には世界中の友人たちが助けてくれました。皆さんも、人との出会いを大切にしてください。そして、いつでもどんな時も“楽しむ”気持ちを忘れないでください。



今年の夏、鳥羽水族館では3頭のスナメリの出産が続きました。親子の観察や人工哺育のお手伝いをするため、生物資源学部の学生がボランティアとして活躍しています



赤ちゃんの成長を記録、観察

プールでの遊び相手

すくすく成長中!

ボランティアを通して…

水族生物により興味が湧きました。(権藤さん)

鯨類について、もっと深く知りたくなりました。(千藤さん)

古田さん、鳥羽水族館の皆さま、貴重な機会をいただき本当にありがとうございました。

※1：鳥羽水族館の人気魚「セテナ」は、1986年にフィリピンのパラワン島エルニドで保護されたジュゴンの幼獣。
※2：インド洋に位置する独立国家で、現在のコモロ連合。
※3：絶滅危惧種に指定されているコイ科の淡水魚。

古田前館長とのスリーショット

● 特集 ● 輝くOB・OG 第6弾

特集 ● 青春！頑張るクラブ・サークル特集

特集 ● 青春！頑張るクラブ・サークル特集

スポーツの秋！
芸術の秋！

青春！ 頑張るクラブ・サークル特集

三重大学の学生たちは課外活動にも積極的に参加しており、
今回は今年優秀な成績を収めたクラブ・サークルを取材し、強さの秘密に迫ります！

アーチェリー部

●活動日時 月、水、木曜日 16:30～・土曜日 9:00～
●活動場所 アーチェリー場
●部員数 22人
[URL] <http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Lounge/4922/>



受賞 第63回東海地区国立大学体育大会
男子団体戦 優勝

★強さの秘密!★

“練習”と“環境”で東国体三連覇を射止める!

普段は18mから70mの距離で、試合と同じ形式で行射する練習をします。しかしそれだけではフォームが乱れてくるので、正しいフォームを確認するために的のすぐ近くから打つ練習もします。アーチェリーは普段の練習量が結果に結びつきやすいスポーツなので、とにかく数をこなして経験を積むことが重要です。そのために、練習に積極的に参加してお互いに指導し合ったり、定期的に部内で点数を出して切磋琢磨できる環境を整えたことが優勝に結びついた要因だと思います。

狙い澄まして放つ、渾身の一射!

大学入学をきっかけに「新しいことを始めたい!」と思い、大学から始める人が多い競技ということで入部したのがアーチェリー部でした。

アーチェリーは、自分を客観的に見ることで、自分を見つめ直すことを目指す競技です。普段の練習で自分なりの打ち方を色々模索したり、弓のパーツをいじってみて自分好みにカスタマイズしたり…。そして試合での中心を射抜いたときの爽快感は、他の競技では味わえないと思います。

今後も現状に満足することなく、より高みを目指して良い結果を残せるようにしていきたいです。次の目標に向け、部員一同がんばります!

(代表者：平松 瞭)



最後に一言 / 全日本学生アーチェリー王座決定戦出場と、東国体三連覇を狙います!

陸上競技部

●活動日時 月、火、木、金曜日 16:30～・土曜、祝日 9:30～
●活動場所 陸上競技場
●部員数 78人
[URL] <http://mie.or.tv/>



受賞 第63回東海地区国立大学体育大会

★強さの秘密!★

効果的な練習メニュー

短距離、中距離、長距離、フィールドの4つのブロックに別れ、それぞれ工夫した練習を行っています。例えば短距離ブロックでは、プライオメトリックスと呼ばれる筋肉の爆発力をアップさせるトレーニングにこだわり、ほぼ毎日行っています。メインとなる走り込みでは休憩時間にもこだわりがあり、細かく設定しています。陸上競技は個人で競うことが多いですが、チームとしての陸上競技部を常に意識して練習し、挑んでいきたいです。

◎男子総合 第3位 三重大学

◎男子フィールド 第2位 三重大学

◎女子フィールド 第3位 三重大学

◎男子5000m 第2位 細澤幸輝
◎男子10000m 第2位

◎男子3000m障害 第1位 奈良賢治

◎男子4×400mR 第2位 三重大学

◎男子棒高跳 第3位 盤所真

◎男子砲丸投 第3位 岡南遼

◎男子円盤投 第1位 清水元基
第2位 岡南遼

◎男子ハンマー投 第2位 軽井雅文
第3位 清水元基

◎女子砲丸投 第1位
◎女子円盤投 第1位
◎女子やり投 第1位
山下奈瑠美

自分の壁を越える

もちろん大学から陸上競技を始めた人もいますが、入学以前から陸上競技をしていて、記録の更新を目指して入部をする人が多いです。そのため、部員ひとりひとりが明確な目標を持って練習に取り組んでいます。目標達成のためには時間を惜しまず、自主練習をする人も多いです。このような雰囲気が、入賞や自己記録の更新に繋がっていると思います。

この部は自分自身を本気にさせてくれます。陸上競技をやっていなかったら、ひとつのことにこれほど打ち込むことはなかったかもしれません。陸上競技との出会いに感謝しています。

(代表者：松下和弘)

最後に一言 / 国公立24大学対校戦に向け、チーム一丸となって頑張ります!



特集 青春！頑張るクラブ・サークル特集

少林寺拳法部

●活動日時 火、木、金曜日 16:30~19:00
土曜日 13:00~14:30
●活動場所 第二体育練習場
●部員数 18人
[URL] <http://www.geocities.jp/miedaisyourinji/>



受賞 第63回東海地区国立大学体育大会
団体演武最優秀賞
立会評価法男子の部
優秀賞:廣岡寛貴、金子央

全員でつかんだ最優秀賞

少林寺拳法部に入部した理由は人により様々ですが、全員に共通していることは、部活の雰囲気にかまれたということです。練習の時は真剣に、練習後はみんなで和気藹々としている、そんなメリハリがありながらも温かい雰囲気をこれからも大切にしていきたいですね。

少林寺拳法は、基本的に二人一組で練習します。その中で、お互いに技を掛け合い、高め合いながら技を習得し、一つの演武をつくっていきます。相手を倒すのではなく、相手と高め合う、そこが少林寺拳法の魅力の一つだと思います。大会に向けての練習では、メンバーで良かった点、良くなかった点、どうしたら良くなるかを議論しつつ、とにかく何回も通って練習しました。演武を良くするために皆で本気で意見を出し合う、そうすることによりお互い理解し合え、今回の受賞につながったのだと思います。

部員の皆が少林寺拳法を好きになれる、そんな部活を目指しながら今後も精進していきます。
(代表者：亀田大地)



★強さの秘密!★

自己確立 実戦の中で自分を知る

立会評価の部は演武とは異なり、防具とグローブを装備して相手と実際に試合を行います。大切なことは、自分ができていることを把握して、その中で工夫を重ねていくこと。また、試合の中での気持ちの切り替えを早く行い、自分の中でしっかりとリズムやペースを作っていくことが重要だと思います。

吹奏楽団

●活動日時 火、木、金曜日 18:00~20:00
●活動場所 教育学部音楽棟と翠陵会館
●部員数 41人
[URL] <http://musb.web.fc2.com>



受賞 2014年度
東海大会吹奏楽コンクール
銀賞
三重県吹奏楽コンクール
優勝 朝日新聞社賞

No music, No university life

入部のきっかけは入学式の演奏でした。三重大学の入学式では吹奏楽団が新生に向けて演奏をするのですが、その演奏にすごく感動し、入部を決めました。

さて、吹奏楽団の一大イベントといえばサマーコンサートです。選曲は幅広い年代の方に楽しんでいただけるように考えました。曲の構成や照明の配置などは曲のイメージを考慮しながら自分たちで考え、リハーサルは納得いくまで何度も行いました。辛いこともありましたが、仲間と練習した日々は全てよい思い出です。

私にとって、吹奏楽団は大学生活そのものです。これから先も、メンバー全員がお互いに楽しみながら高めあっていけるような部活にしていきたいです。
(代表者：西崎綾菜)

★強さの秘密!★

楽器に頼らない音楽力

楽器の練習にこだわらず、よりよい演奏をするために何が必要かを考えて練習しています。楽器に頼らずに常に音程を意識するために歌の練習を行い、音程感を身につけたりします。他にも、音楽に合わせて足踏みをしてリズム感をつかんだり、歌劇の曲ではストーリーを調べて曲をより深く理解したり、その時々で曲に合わせた練習をしています。



最後に一言 / 目指せ全国大会!!!!!!

天狗う

●活動日時 火、金曜日の週二回程度 18:30~21:00
●活動場所 陸上競技場、第一体育練習場
●部員数 92人
[URL] http://tengu109.web.fc2.com/new_homepage/
[Twitter] <https://twitter.com/tenguyosakoi>
YouTubeも要チェック!



受賞 第十一回犬山踊芸祭
愛知県知事賞
第16回につぼんど真ん中祭
奨励賞

“よさこい”にかける青春

もともと“よさこい”とは縁もゆかりもありませんでしたが三重大学に入学し、サークルを探しているとき天狗うと出会いました。当時はそのサークル名から胡散臭いサークルだなと思いましたが(笑)、実際の演舞で、先輩たちが笑顔で楽しく踊っているのを見て心が動かされ、一緒に踊りたいと思い入部しました。皆がひとつになって演舞を見てくれる人たちに笑顔や元気を届けられる、そう思ったんです。

サークルが一丸となって演舞を作り上げ、全員で青春できるところが魅力です。大会で入賞を目指す他にも、天狗うのメンバーが天狗うの一員であることに誇りを持つようなチームにしていきたいです。
(代表者：島 寛季)

★強さの秘密!★

自分たちの手で最高の演舞を

演舞は全てオリジナルで二年生の頃から同期みんなで考え始め、一年をかけ完成します。天狗うの演舞には「自分たちの想い」を元とし、ストーリーを盛り込みます。それに合わせ、曲のイメージやテンポを作曲者さんに依頼し、作曲してもらいます。あとは振り班が振りを作り、衣装班が衣装や小道具を作り、地方車班が大道具を作り、協力して目標に向かって突き進みます。



最後に一言 / 皆さんに天狗うを知ってもらい、大勢で舞台を埋め尽くして楽しく演舞したいです!

特集 青春！頑張るクラブ・サークル特集

気になる NEWS



7月13日

保護者向け「就職活動」についての説明会



本学初の保護者向け就職説明会が開催され、就職環境に関する講演や保護者ができるサポートについてのパネルディスカッション、就活手帳のサンプルおよびリクルートスーツの展示などが行われ、約680人が参加しました。

7月15日

省エネおよび環境マネジメントシステム講演会



盛山正仁衆議院議員から「環境政策の課題について」と題した特別講演や地域イノベーション学研究所の坂内正明教授、朴 恵淑理事(企画・評価・環境担当)・副学長から環境をテーマとした講演が行われ、一般の方や学生・教職員104人が参加しました。

7月19日

「青少年のための科学の祭典・三重大学大会」および「サイエンス on ステージ」



実験や工作など31のブース出展や5回のサイエンスショーが行われ、約2,500人の来場者は、親子一緒になって科学の不思議を楽しく学びました。

7月26日

みえアカデミックセミナー



医学部の磯和勅子教授が「超高齢化社会における防災・減災対策～避難のための健脚づくりから避難所生活における健康管理まで～」と題して講演し、81人が参加しました。

7月28日

外国人留学生インターンシップ事業



伊賀連携フィールド実施事業の一環として、インターンシップに参加する留学生6人が伊賀市を訪れ、地元企業など関係者との対面式の後、岡本 栄伊賀市長を表敬訪問しました。

7月22日～10月22日

企画展示「近代辞書の歩み」



附属図書館において、大槻文彦『言海』から現在の辞書に至るまでの主要な辞書13点の紹介や展示本の副本を実際に手に取って使える体験コーナーを設けた企画を行いました。

8月7日・8日

オープンキャンパス2014



7日に教育、医、工学部、8日に人文、生物資源学部のオープンキャンパスが開催され、県内外から5,200人が参加しました。

8月8日

風力発電体験学習



大型風洞実験施設にて風速25m/sの強風体験や小型風車の組み立て体験、自転車をこいでの発電体験などが行われ、子ども達は自然エネルギーについて学びました。

8月21日・22日

平成26年度「三重大学生生活体験講座」



2日間にわたって各学部の紹介、体験授業、学部学生による研究内容の紹介が行われ、約300人の生徒はそれぞれ興味のある学部の講座に参加し、大学生生活を模擬体験しました。

8月21日・22日

第13回フレンドシップ事業「子ども科学教室2014」



教育学部理科教育コースの学生が主体となって、地元の小学生を対象とした生物、物理、地学、化学の4分野の実験を行い、参加した60人は楽しく実験しながら科学に対する興味と理解を深めました。

8月22日・23日

第17回「リフレッシュ理科教室」



小中学校の先生や子ども、保護者を対象に、「風の力であそぼう!」をテーマとした教室が開講され、風の力で動くアヒル、自動車、エンジンを工作しました。

8月24日

AQUA SOCIAL FES!! in 松名瀬



「ESD in 三重 2014」の一環として、松阪市の松名瀬干潟・海水浴場において、350人が清掃活動に参加し、その後、干潟に生息する生物を学ぶ環境学習が行われました。

学生企画! 学生オリジナルの動画が完成しました



学生が企画・撮影・編集を行った学長・理事の紹介動画が完成しました。動画は、三重大学HP内の「三重大学チャンネル」で公開中です。

9月3日

平成26年度第1回地震防災訓練



南海トラフを震源とする巨大地震を想定した図上訓練や初期消火訓練、エレベータ内閉じ込め者救出訓練の実働訓練が行われ、最後に内田淳正学長、防災アドバイザーの川口 淳准教授から総評がありました。

9月14日

パープルリボンウォーク&セミナー 2014 in 津



「早期発見をめざして」と「専門施設での治療を」をスローガンに膵がん啓発イベントが開催され、ウォークイベントに229人、セミナーに156人が参加し、活発な意見交換などが行われました。

9月19日

生物資源学研究所オープンラボ「産学官コミュニティシンポジウム2014」



産学官交流を通して生物資源学研究所の魅力アピールすることを目的に、大学院生の研究発表を中心としたシンポジウムやパネルディスカッションなどが行われ、171人が参加しました。

9月24日

川崎二郎衆議院議員特別講演会



川崎二郎衆議院議員の「日本経済の現状と三重県・三重大学の課題」と題した特別講演が行われ、参加した学生・教職員約160人は熱心に聞き入りました。

9月26日

舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座・シンポジウム



文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の一環として、4日間にわたって開催された「舞台芸術振興のためのアートマネジメント人材育成講座」のまとめとして、東海圏の劇場関係者によるシンポジウムなどが行われ、60人が参加しました。

練習船「勢水丸」が海上保安庁長官感謝状を受賞



海上保安庁から「水路記念日」に伴い、日本南方海域の海面水温や風、海流など、数多くのデータ提供に長年協力したとして練習船「勢水丸」に感謝状が贈られました。

お知らせ ● 休業のお知らせ ● 公開講座・シンポジウムなど

休業のお知らせ

年末年始休業について

三重大学では、平成26年12月27日(土)～平成27年1月4日(日)の間、年末年始のため休業とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。



平成26年 12/27
平成27年 1/4

公開講座・シンポジウムなど

人文学部 伊賀連携フィールド2014年度 伊賀忍者 古文書講座

講師 山田雄司(人文学部・教授)
会場 ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所会議室
受講料・定員 3,000円(全6回、資料・菓子代※欠席日があっても返金はいたしません)・20名
受講対象者 市民一般
問い合わせ先 上野商工会議所 山崎 / 0595-21-0527

- 第1回 10/17(金) 14:30~16:00
第2回 11/28(金) 14:30~16:00
第3回 12/19(金) 14:30~16:00
第4回 平成27年1月23日(金) 14:30~16:00
第5回 平成27年2月27日(金) 14:30~16:00
第6回 平成27年3月27日(金) 14:30~16:00

平成26年度Mip特許塾

「学ぶほどおもしろい、知的財産の実際—特許と意匠を使いこなす—」

会場 三重大学社会連携研究センター3階 研修・会議室
問い合わせ先 社会連携研究センター知的財産統括室
059-231-5495 / FAX 059-231-9743
E-mail: chizai-mip@crc.mie-u.ac.jp

- 第1回 「特許法のすすめ、輝く未来に向けて」 10/17(金) 18:00~20:10
第2回 「ますます必要となる意匠権、お悩みを解決」 10/31(金) 18:00~20:10
第3回 「日本が生んだ世界食 ～インスタントラーメン～ その歴史から学ぶ知的財産戦略～」 11/21(金) 18:00~20:10
第4回 「こんなことが!いや強力なコアコンピタンスが大事なのです、意匠権」 12/5(金) 18:00~20:10

人文学部「公開ゼミ」・「公開講座」

会場 三重大学人文学部
受講対象者 市民一般
申込方法 電話、FAX、メール
申込期間 各開講日の5日前まで

申込み・問い合わせ先 人文学部チーム総務担当
059-231-9196, 059-231-9195
FAX 059-231-9198
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiiki/kouza

公開ゼミ

受講料・定員 無料・各20名(定員まで先着順に受け付けます)

②伊勢大神宮・斎宮の考古学

講師 山中 章(文化学科・名誉教授)
日時 平成26年10月22日(水)、29日(水)、11月5日(水) 13:00~14:30

③日本の金融について考える

～金融の果たすべき役割とは何か～
講師 野崎哲哉(法律経済学科・教授)
日時 平成26年10月23日(木)、30日(木)、11月6日(木) 10:30~12:00

※①回は終了しました。

公開講座

受講料・定員 無料・自由参加(要申込)

④老人たちの受難と悟り

～シェイクスピアの悲劇『リア王』を読む～
講師 坂本つや子(文化学科・元人文学部教授)
日時 平成26年10月24日(金) 13:00~14:30

⑤音楽に潜む言葉のリズム

講師 服部範子(文化学科・教授)
日時 平成26年12月5日(金) 10:30~12:00

⑥「自由」を巡る哲学的対話

講師 田中綾乃(文化学科・准教授)
日時 平成26年12月11日(木) 13:00~14:30

※①~③回は終了しました。

津市を元気に!チャレンジプロジェクト

(中心市街地活性化タスクフォース事業)
第2回全体会議～キャンパスに絵を描こう～

日時 平成26年10月23日(木) 18:30~
会場 津センターパレス2F 中央公民館ホール(津市大門7-15)
問い合わせ先 地域戦略センター 坂 知尋・向井里奈 / 059-231-9899
E-mail: saka@crc.mie-u.ac.jp

人文学部特別講座

「桂吉坊に聞く落語の想像力」

日時 平成26年10月24日(金) 14:40~16:10
会場 三重大学 三翠会館
参加費 無料
申込み・問い合わせ先 人文学部准教授 吉丸雄哉
E-mail: yoshimaru@human.mie-u.ac.jp

平成26年度三重大学大学院生物資源学研究科公開講座

「地域の資源循環を考える～食に関わるリサイクルの今とこれから～」

日時 平成26年10月25日(土)、26日(日) 13:00~16:10
会場 生物資源学部校舎1階 大会議室
受講料・定員 無料・50名(先着順)
受講対象者 高校生以上の一般の方
申込み・問い合わせ先 生物資源研究科チーム総務担当
059-231-9673 / FAX 059-231-9634
E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

日本学術会議中部地区会議学術講演会 環境先進大学からの情報発信

日時 平成26年10月31日(金) 13:00~16:00
会場 三重大学総合研究棟II階 メディアホール
問い合わせ先 日本学術会議中部地区会議事務局(名古屋大学研究協力部研究支援課内)
052-789-2039 / FAX 052-789-2041
三重大学学術情報部研究支援チーム
059-231-9704 / FAX 059-231-9705

フランス・ヴァルドワーズ県セミナーin 三重大学

日時 平成26年11月1日(土) 15:00~17:45
会場 三重大学地域イノベーション研究開発拠点 低層棟3階ホール
受講料 無料
申込期間 平成26年10月27日(月)まで
申込み・問い合わせ先 三重県企業誘致推進課
059-224-2819 / FAX 059-224-2221
E-mail: kigyoyu@pref.mie.jp

人文学部 伊賀連携フィールド2014年度 英語講座「BASHO—英語で読む芭蕉」

講師 小田敦子(教養教育機構・教授)
会場 ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所会議室
受講料・定員 3,000円(全6回、資料・菓子代※欠席日があっても返金はいたしません)・20名
受講対象者 市民一般
問い合わせ先 上野商工会議所 山崎 / 0595-21-0527

- 第2回 「英文収録 おくのほそ道」 11/7(金) 14:30~16:00
第3回 「英文収録 おくのほそ道」 12/5(金) 14:30~16:00
第4回 「英文収録 おくのほそ道」 平成27年1月16日(金) 14:30~16:00
第5回 芭蕉とHAIKU 平成27年2月20日(金) 14:30~16:00
第6回 英語で読む芭蕉論 平成27年3月13日(金) 14:30~16:00
※第1回は終了しました。

映画「WOOD JOB!」と三重大学演習林 ～三重大に御神木が来た!!～

日時 平成26年11月10日(月)~12月25日(木)の平日10:00~16:00
会場 三重大学レーモンドホール、環境・情報科学館
参加費 無料 申込み 不要
問い合わせ先 059-231-9966, 059-231-9045
※映画の舞台裏と、そのロケ地になった三重大学演習林、美杉の自然を紹介します!

ESD in 三重2014～アジア・太平洋持続可能な開発のための教育(ESD)ユース世界会議～アジア・太平洋環境コンソーシアム ESD国際シンポジウム

日時 平成26年11月10日(月) 13:30~17:30
会場 三重大学環境・情報科学館
定員 200名
問い合わせ先 国際環境教育研究センター支援室 亀山
059-231-9976, 059-231-9823 / FAX 059-231-9859
E-mail: esd2014@gecer.mie-u.ac.jp



人文学部 伊賀連携フィールド2014年度後期 市民講座 忍者・忍術学講座「忍術を広げる」

会場 ハイトピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール
受講料・定員 無料・自由参加
受講対象者 市民一般
問い合わせ先 人文学部チーム総務担当 / 059-231-9194
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

表裏変転の兵法 柳生新陰流

講師 多田容子(作家)
日時 平成26年11月15日(土) 10:30~12:00

忍者伝承地「伊賀」

講師 池田 裕(伊賀忍者研究会)
日時 平成26年12月13日(土) 10:30~12:00

大衆文学とは何か 一貴司山治「忍術武勇伝」

講師 尾西康充(人文学部・教授)
日時 平成27年1月10日(土) 10:30~12:00

忍者の食

講師 久松 真(社会連携研究センター・特任教授)
日時 平成27年2月14日(土) 10:30~12:00

忍者修行入門II

講師 川上仁一(社会連携・特任教授)
日時 平成27年3月14日(土) 10:30~12:00

? 「発見塾」

受講料・定員 無料・自由参加
受講対象者 市民一般
問い合わせ先 三重大学附属図書館 / 059-231-9032
URL http://www.lib.mie-u.ac.jp

南海トラフ地震に備える～生き残り、生きのびて、次につなげるために～

講師 川口 淳(工学部・准教授)
日時 平成26年11月22日(土) 14:00~15:30
会場 美里社会福祉センターホール(津市美里町三郷46-3)

ここまでわかった!忍者・忍術ってホント?

講師 山田雄司(人文学部・教授)
日時 平成27年1月24日(土) 13:30~15:00
会場 津リージョンプラザ2階 健康教室

気象と市民生活(仮題)

講師 立花義裕(生物資源学部・教授)
日時 平成27年3月28日(土) 13:30~15:00
会場 津リージョンプラザ2階 健康教室

三重大サイエンスカフェ(第7回) 死後の世界～靈魂の行方～

講師 山田雄司(人文学部・教授)
日時 平成27年1月16日(金) 15:00~
受講対象者 市民一般
申込み・問い合わせ先 社会連携研究センター(研究支援チーム)
059-231-9704 / FAX 059-231-9705
E-mail: ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.crc.mie-u.ac.jp/
※詳細は12月頃上記URLに掲載予定です。

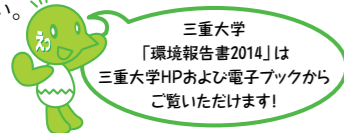


ご報告

◎三重大学「環境報告書2014」が完成!

(2014年9月30日)

今年度の環境報告書は、「持続可能な開発のための教育(ESD)と環境文化」をテーマに、環境関連の受賞、三重大学ミュージアム構想、教養教育/地域イノベーション研究開発拠点、ESD in 三重、環境座談会について大きく取り上げています。各章においては、サステナブル・スマートキャンパスによる二酸化炭素の大幅な削減、環境ISO学生委員会の活動、三重大ブランドの環境教育や環境研究を始めとする取り組みをご紹介します。「世界一の環境先進大学」を目指す三重大学の展開に是非、ご注目ください。



三重大学「環境報告書2014」は三重大学HPおよび電子ブックからご覧いただけます!

◎附属病院敷地内に「ハーモニーハウス」が開所!

(2014年9月17日)

主に入院中または遠方から通院治療を受けられる患児とご家族のための宿泊施設として設置されました。

開所式では、内田淳正学長、伊藤正明附属病院長、当施設設立にあたり多大なご寄附をいただきました株式会社メディカルー光 南野利久代表取締役社長からのあいさつに続き、関係者ら約50人が見守る中、テープカットが行われました。



◎人文学部校舎内に生協プチショップがオープン!

(2014年10月7日)

人文学部校舎1階の学生ラウンジ内に、「大学生協人文プチショップ」がオープンしました。このショップは、学生の食事時間の確保と利便性を向上させることを目的に、大学生協と話し合いオープンすることとなりました。後藤 基人文学部長は、「きちんとした食事をとることで、しっかりと講義に望んで欲しい」と学生にメッセージを送っています。学生の皆さんが有効に利用し、充実した学生生活につながることを期待されます。



看護師・助産師 募集

医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。



【お問い合わせは】

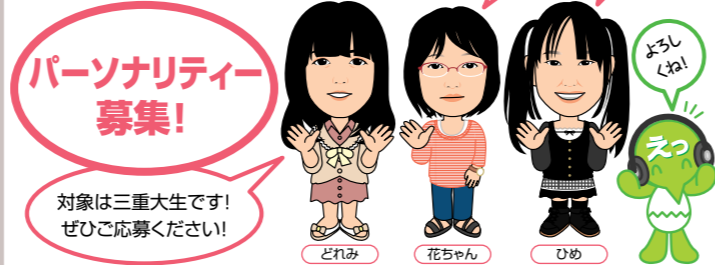
三重大学医学部附属病院看護部 ☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～

「Campus CUBE」

毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!



パーソナリティー募集!

対象は三重大生です! ぜひご応募ください!

★応募先★ 三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

三重テレビ放送で放送中!!

きらめき☆三重大学!

三重大学の学生が、本学の魅力を紹介します。

今後の放送日 (予定)

時間はいずれも12:00～12:30

- 2014年10月29日(水)
2014年11月25日(火)
2014年12月24日(水)

再放送は当日の17:00～17:30及び翌日の7:00～7:30です。(三重テレビ第2チャンネル)



三重大学のテレビ番組だよ! MTU 三重テレビ放送 第1チャンネル(071)

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
◎学生の修学環境整備事業
◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
◎地域貢献支援事業
◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

お問い合わせ先

三重大学振興基金事務局

【企画総務部総務チーム内】 〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp URL: http://www.mie-u.ac.jp/foundation/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県 koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただきます。

本誌お問い合わせ先

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室 〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000 ホームページ http://www.mie-u.ac.jp/ E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

えっくす特別号2014 平成26年10月発行

- 発行/三重大学広報委員会
●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載は断ります。



三重大学の学生が元気だ。地方の中堅大学なので、静かで、穏やかと言われてきたが、最近の三重大生は活力に溢れている。素晴らしい!(ロッキー)

南半球の国へ出かけました。季節が逆で、あちこちに満開の桜があり、少し得した気分になりましたが、文化や習慣、特に考え方の違いに驚くとともに、世界の広さを改めて認識しました。我が家のちょっとしたグローバル化です。(織姫)

食欲の秋、到来ですね!我が家では今年、栗・柿が豊作でした。あま〜熟した柿は野鳥との取り合いです。首尾よくゲットした秋の味覚、どんな料理にしようかな?おすすめレシピ募集中です。(プカブカ)

今回は裏方の仕事だけでしたが、少しは役に立てたかな?次回は取材にいくぞー!(鳥羽水族館、行きなかったなあ...)ホソリ(イチカワ)

ついこの間までは暑かったのに、最近はどんどん寒くなってきました。毛布とこたつの季節までもう少し!季節の変わり目は体調を崩しやすいので、読者の皆様も気をつけてくださいね。(S.O.)

面白くて可愛いメモ、付箋が大好きです。お気に入りの一つはカ〇ブヌードルのもの。机の上にメッセージとして置いておくと「なにこれ!」とみんな驚くので、その様子を見て一人ぼっこしています。(きょうらいん)

えっくす32号発行時には、まだ物件探し中でしたが、えっくす特別号が発行されるまでの間に自宅を引越しました。まだ慣れてなくて他人の家に居る気分ですが、自宅も大学も一層楽しい場所になるといいなあ。(nico)

朝晩が涼しくなり、秋らしい空気を感ぜられるようになり、食欲向上中デス↑↑さっそくスマートフォンで検索してみました。「減塩 一人鍋 レシピ」(北の大地)



次号も楽しみに!

お知らせ ●ご報告/看護師助産師募集/FM三重で放送中!!/三重テレビ放送で放送中!!

お願い ●三重大学振興基金・メールマガジン ●編集後記 ●

66th 三重大学祭

11月
1日 SAT
2日 SUN
9:00~19:00

三重大学の学祭は
地域の方々も含めたお祭です！
是非ご参加ください！

テーマ **津動** ~皆、集う~

当日企画

- ★ M-1コンテスト
- ★ 女装コンテスト
- ★ カラオケ企画
- ★ スポーツ企画
- ★ 市町村物産展
- ★ 子ども企画
- ★ 学術企画
- ★ MMF (Mie Music Festival)
- ★ スタンプラリー
- ★ 模擬店コマーシャル
- ★ マンモ津フリーマーケット

今年も楽しい企画が盛りだくさん！



11/1 SAT
アーティストライブ
ONE☆DRAFT



11/2 SUN
後夜祭



10/25 SAT
©予備日10月26日(日)

プレイベント
「ウォーリーを探せ」

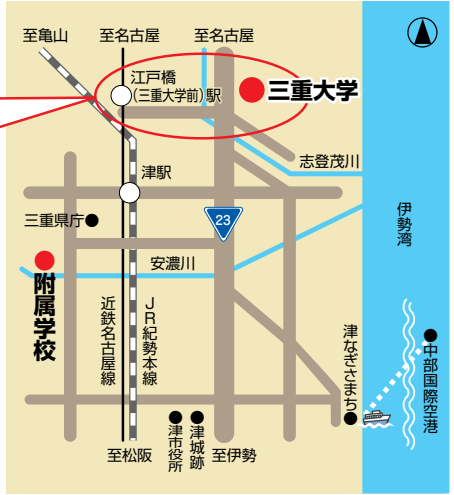
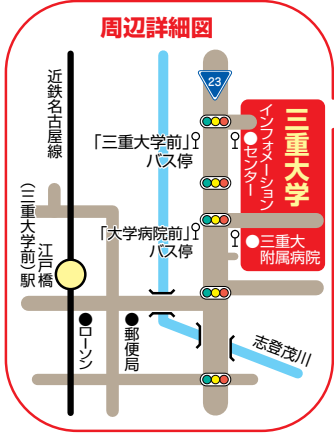


三重大学学祭実行委員会の
twitterもあるよ！
みんなもフォローしてみてね！



※駐車場は若干数のみとなります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(おくと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアーポートラインで津なぎさまちへ45分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

